

大会名 Competition	秋田国体記念 第20回能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-108	Year Month Day Time 2007 年 5 月 5 日 11 : 05
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B										
明成高	<table border="1"> <tr><td>14 1st</td><td>24</td></tr> <tr><td>17 2nd</td><td>14</td></tr> <tr><td>10 3rd</td><td>19</td></tr> <tr><td>18 4th</td><td>20</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	14 1st	24	17 2nd	14	10 3rd	19	18 4th	20	OT		DeMatha
14 1st	24											
17 2nd	14											
10 3rd	19											
18 4th	20											
OT												
59 ●		77 ○										

主審:Referee 佐藤 誠 (千葉)  
副審:Umpire 北沢 岳夫 (宮城)  
テーブル・オフィシャルズ:Table officials 花輪高校 (男子)

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	
4	×	安藤 雄志	CAP	5	1	1	0	1	1	1	Corey Smith	CAP	0	0	0	0	0	
5	×	小野 大貴		8	1	2	1	4	2	2	Byron Richards		0	0	0	0	0	
6	／	伊藤 駿		2	0	0	2	1	3	×	Austin Freeman		18	1	6	3	1	
7	×	岩崎 翔太		0	0	0	0	0	4	×	Kenny Tate		6	0	3	0	1	
8	／	我妻 典明		0	0	0	0	2	10	／	Joe Smith		0	0	0	0	0	
9	／	佐藤 琢		5	1	1	0	0	11	／	Phillip Green		0	0	0	0	0	
10	／	佐藤 卓哉		7	1	1	2	2	12	／	Marcus Rouse		9	0	1	7	3	
11	／	菅原 康平		4	0	2	0	4	13	／	Tyler Carter		0	0	0	0	0	
12		菊地 大		-	-	-	-	-	20	／	Bryon Allen		6	0	2	2	2	
13	×	石川 海斗		10	2	2	0	2	21	×	Isaiah Tate		9	1	2	2	2	
14	×	中川 真雄		18	0	8	2	2	30	×	Jeff Peterson		12	0	6	0	1	
15		宮澤 耀佑		-	-	-	-	-	44	×	Jerai Grant		17	0	8	1	2	
16		佐藤 文哉		-	-	-	-	-					-	-	-	-	-	
17		新妻 一輝		-	-	-	-	-					-	-	-	-	-	
18	／	畠山 俊樹		0	0	0	0	3					-	-	-	-	-	
コーチ		佐藤 久夫							コーチ		Mike Jones							
合計				59	6	17	7	21	合計				77	2	28	15	12	

※ ×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P\* イントシュート 2P:2P\* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1Q、両チームマンツーマンディフェンスでスタート。序盤、明成はパスミスなどが続き、思い通りのオフェンスができない。一方、DeMathaは#4 Grantのダンクを皮切りに速攻からのレイアップなど高さを生かしたオフェンスを展開する。明成も#14中川のみドルレンジからのジャンプシュートなどでこれに対抗する。終盤はどちらもシュートが入りだし、14-24となったところで終了。

第2Q、ディフェンスが良くなった明成に対し、DeMathaは速攻が出なくなる。さらに明成は24秒を時間いっぱい使う得意のパスングオフェンスでじわじわと点差をつめる。これに対しDeMathaは#3 Freemanのポストからの1on1などで対抗する。終盤、明成は#14中川の速攻や#13石川の3Pなどで追い上げ31-38として前半を終える。

第3Q、DeMathaは開始早々からダンクや激しいディフェンスで流れを作り、明成を突き放しにかかる。明成はたまたまタイムアウトをとるものの、なかなかシュートが決まらない。終盤、ゾーンディフェンスに変えたDeMathaに対し、明成は#4安藤の3Pが決まるが点差が縮まらず、41-57で終了。

第4Q、開始からゾーンディフェンスのDeMathaに明成はアウトサイドシュートで対抗する。しかし明成は中盤以降ファールが多くなり、DeMathaに多くのフリースローを与えてしまう。さらにDeMathaはオフェンスのテンポを速くし、点差を広げていく。明成もリバウンドなどで最後のがんばりを見せるが、力およばず59-77で試合を終えた。